



広報課からのお知らせ



テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30
9月 3日 アジア・オセアニア高校生フォーラム
9月10日 食の安全・安心を考える
9月17日 わかやま結婚・子育て応援企業同盟
結成!
9月24日 知事と語る

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:29~19:58



ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40~16:00

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

なんき

**南葵音楽文庫寄託記念
読売日本交響楽団和歌山特別公演**



指揮 川瀬賢太郎 ピアノ 仲道郁代

時: 12月6日(水) 19:00開演
場: 県民文化会館大ホール(和歌山市)
費: S席3,000円 高校生以下1,500円
A席2,000円 高校生以下500円(全席指定)
問: 和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331
※未就学児入場不可 [和歌山県民文化会館](#)

【広告】 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



2つめの就活サイクル

毎年春から夏にかけて大学生が就職活動として企業訪問をしている姿がテレビなどで報じられます。この時期になるとぼさぼさ頭の男子学生もきっちり髪を整え、スーツ姿に身をやつし、茶髪的女子学生も黒く髪を染め直して、いそいそと企業に通います。高校生諸君も企業訪問をして自らの気持ちを確かめ、面接に向かうのです。この就活サイクルは日本が誇るべき労働制度だと思えます。採用する方、される方の双方にとってできるだけ良い相手を探そうとする集団見合いみたいな制度ができていますから、大変便利なのです。しかし、こういう便利な制度は主として新卒者を対象としているのであって、一旦就職してしまった人や、一旦会社を辞めた人にとっては、次に就職を決めようとする、えらく大変なことになります。

今の時代、必ずしもすべての人が終身雇用とは限りません。女性で出産子育てを機に職場を離れたが、子供が大きくなったのでもう一度職に就きたいと思っている人が随分いるのではないかと思います。定年後、もう一度働きたいと思う人もいでしょう。また、転職を考える人もいでしょう。特に県外大学進学率No.1の和歌山県の出身者で大学の近くで就職したけれど、できれば和歌山に帰りたいという人もいでしょう。

でもそういう人に上述のような便利な就活制度はありません。そこで和歌山県はそれを創ることにしました。第二の就活サイクルの創設です。多くの企業や団体に協力を願って新卒の就活サイクルの終わる9月の後、10月から2月にかけて、企業等に改めて中途採用の求人を出してもらい、それを集めてどんどん宣伝をし、そのための就職イベントなどもどんどん行って、新卒以外の方々が就職を決めやすくする「2つめの就活サイクル」を創ります。

今は準備の真っ最中。何せ世界初の試みですから大変ですが、そのためのキックオフイベント(7月11日)に講師としてきていただいた労働経済学の泰斗、清家篤前慶應義塾大学学長や厚生労働省の幹部からも大いに期待をされています。皆さん乞う御期待。

和歌山県知事 **仁坂 吉伸**